

山梨県
芸術文化協会情報誌

藝文

やまなし

Vol.52

令和7年3月号

CONTENTS

令和6年度を振り返って
イベント紹介
芸術劇場 公演団体の声
芸術劇場 開催団体の声
芸術文化講習会 開催部門の声
賛助会員の紹介

事務局

山梨県 観光文化・スポーツ部
文化振興・文化財課
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1797
FAX 055-223-1793
<https://yamanashi-geibun.net>

令和6年度を振り返って



山梨県芸術文化協会会長
野口 英一

春の息吹を感じる季節となり、日ごとに暖かさが増してまいりました。

令和6年度も、会員の皆様のご協力により、山梨芸術劇場や指導者派遣などの事業を無事に終了することができました。本県の芸術文化の振興や担い手の育成にご尽力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

山梨芸術劇場では、太鼓、演劇、邦楽、音楽の各部門の会員による6公演を実施しました。多くの子供たちに舞台芸術を鑑賞していただき、その素晴らしさをお伝えすることができたのではないかと思います。さらには、舞台芸術を体験する機会も設け、より芸術文化に親しんでいただけたのではないのでしょうか。

指導者派遣事業では、文学、美術、書道、ハンドクラフト、音楽、合唱、邦楽、演劇、洋舞、民謡民舞、太鼓、朗読の各部門の会員が、派遣希望のあった小、中、高等学校等へ出向き、指導していただきました。

それぞれの専門分野の会員から工夫を凝らした直接指導を受けることにより、芸術文化への興味、関心を深める良い機会になったと思います。

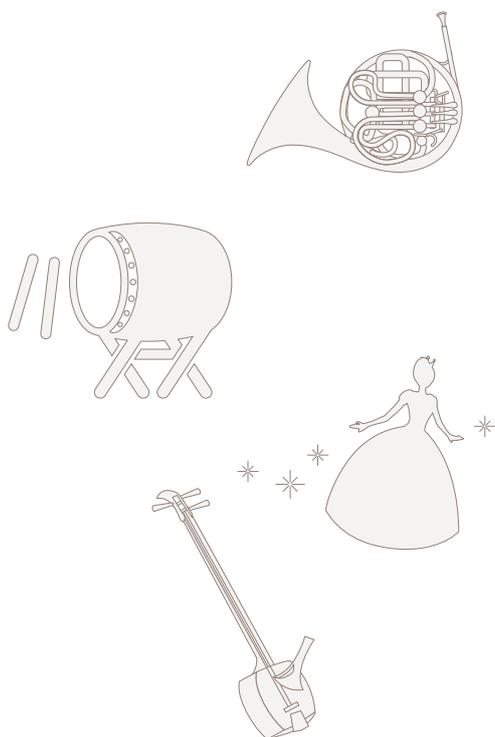
芸術文化講習会では、書道、合唱、民謡民舞の各部門の会員による講習会が実施されました。各部門におきましては、充実した内容の講習会により、芸術文化の振興に資する自主的活動の促進と指導者育成に役立てることができたと思います。

また、民謡民舞部門では、14年ぶりの芸術文化講習会の開催となりました。他の部門におきましても、積極的に本事業をご活用いただき、後進の育成や技術の研鑽に繋げていただければと思います。

本協会におきましては、会員の高齢化等に伴い、会員数の減少が続いています。山梨県でも、少子高齢化等の影響により、47年ぶりに人口が78万人台となりました。

このような中で、芸術文化の灯を絶やさないためにも、これまで以上に若い世代の方に声をかけ、芸術文化の輪を広げていくことが必要です。

会員の皆様におかれましては、今後とも本協会の事業に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、結びとさせていただきます。



イベント紹介

会員の活動をホームページで紹介しています。詳しくはこちら



芸術劇場 公演団体の声

山梨三曲連盟 会長 鈴木 逸明

この度の山梨芸術劇場は、山梨三曲連盟が山梨県芸術文化協会から委託を受け、芸術の秋、真只中の10月25日(金)に南アルプス市立若草中学校で開催いたしました。

事前の打ち合わせにより、生徒約400人、教職員30人に対する公演であり、連盟としても10人体制(箏7人、尺八3人)で対応させていただくこととしました。この芸術劇場の目的は、日本古来の文化、芸術である邦楽(和楽)を鑑賞していただき、邦楽の伝統と知識を育てていただくことにあります。

体育館に整列した生徒さんに圧倒されての開演となりました。

校長先生の挨拶をいただき、私からは、訪問の目的、連盟の組織、活動内容、参加者の紹介、カリキュラム等について説明し、会場の雰囲気や和らげました。幸い学校の計らいにより、90分の時間をいただくことができましたので、内容の濃い対応をすることができました。

公演内容としては、まず、箏、尺八の歴史や楽器の構造等について説明を行い、1300年という歴史の重さに驚いていたようです。若草中学校は、邦楽、特に箏の普及に取り組まれており、備品として数十面の箏を整えておられ、1年生を対象に年数回、実習に取り組まれるなど、箏曲の先進校であります。

一方、尺八については、生で演奏を聴くのも触れるのも初め

てということで、芸術劇場を楽しみにしていたようです。

ワークショップでは、箏と尺八に分かれての体験学習を行いました。箏は、唱歌(ふるさと)を70人に爪引きをしてもらい、最後まで真剣に取り組まれていたことが印象的です。

また、尺八には、30人が挑戦され、初めての体験に興味津々の様子が伺えました。吹き方や持ち方などの基本から指導を行い、特に、ストローを使っての息の出し方等を重点的に取り組みました。プラスチック製の尺八を使用し、最初は音出しに苦勞していたようですが、時間差はありましたが、数名の生徒が「ボー」という音がでるようになり、その瞬間の本人の驚きと目の輝きに感動させられました。その後、箏と尺八による合奏を数曲披露しましたが、身体全体で楽しんでいる様子が見て取れました。

質疑応答では、箏を習い始めた年齢、価格、尺八の長さや値段等興味ある内容でありました。

最後に生徒の代表から、「邦楽の歴史・文化を勉強できたことや、箏、尺八の音色がとても素晴らしく、楽しい時間を過ごさせていただき有難うございました」との謝意がなされ、有意義な芸術劇場を閉じることができました。このような事業で、邦楽の普及発展に大きく寄与できることへの誇りを持ち、これからも精進していきたいと考えております。

芸術劇場 開催団体の声

南アルプス市立若草中学校 教頭 竹内 太郎

暑さもようやく落ち着き、秋らしい気候となった10月25日。若草中学校の全校生徒392名を対象に、若草中学校体育館にて芸術鑑賞教室が開催されました。今回のテーマは「和楽器」で、尺八や琴の演奏を鑑賞しました。

本校の芸術鑑賞教室は3年毎に、器楽鑑賞・合唱鑑賞・演劇鑑賞を順に開催しており、昨年度日本航空高校の太鼓隊の演奏を鑑賞したので、本来であれば今年度は合唱鑑賞の年度でした。青洲高校の音楽部に依頼し合唱を披露してもらったのち、本校生徒に合唱指導をしていただくような計画を考えていました。

また、倍率が高くなかなか開催できないと考えていたものの、文化庁の芸術鑑賞・体験推進事業と、山梨県芸術文化協会の芸術劇場にも申し込んでおりましたところ、文化庁から当選の知らせが届き、「西洋楽器」によるアンサンブルの鑑賞が決まりました。驚いたことに数日後、芸術文化協会からも嬉しい知らせが届き「和楽器」の鑑賞もできることになりました。芸術鑑賞の当たり年です。

正直、生徒たちに和楽器はハードルが高いかと思っておりましたが、和楽器の歴史の講義ののち、ワークショップで尺八や琴の体験をする頃には生徒たちの緊張もほぐれ、伝統楽器をより深く理解する機会が設けられたことですんなりと鑑賞にも入ることができました。「ふるさと」や「六段の調



べ」「武田節」などの演奏を聴き、生徒からは「お正月にラジオやショッピングモールなどで流れている感じの曲でテンションが上がった」「尺八は長く広がって包み込むような音で、琴は高い音も低い音もよく響いてとてもきれいでした」「山梨三曲連盟の皆さんの演奏を聞いて、日本にはこんな素晴らしいものが昔からあったんだなと思ったし、演奏で昔ながらの和の音もあり凄い演奏でした」などの感想が寄せられました。

今回の鑑賞教室を通して、生徒たちは芸術作品に触れる喜びや、自分たちの感性を育むことの大切さを学びました。最後の質問コーナーで尺八の長さや琴の値段などを教えていただき、驚きの声を上げていた様子から、芸術に対する興味関心の高まりが感じられた90分間となりました。

芸術文化講習会 開催部門の声

民謡民舞部門 福嶋 孝顕

山梨県芸術文化協会の民謡民舞部門は、県内で民謡や民舞を愛する多くの人々が集い、日々その技術向上に取り組んでいる団体です。しかし近年、会員数は減少傾向にあり、次第に活動の活気が失われつつある現状に直面しています。そこで、民謡の素晴らしさを広め、新たな会員を迎え入れるための活動として、文化講習会を開催しました。

講師としてお招きしたのは、東京オリンピックにも出演された著名な民謡歌手、松田隆行先生です。松田先生は、長年にわたる実績と深い知識を持ち、その歌声と指導力で多くの民謡愛好者を魅了してきました。この特別な講習会には、部門内外から約50名もの応募があり、民謡への関心と期待の高さが伺えました。

講習内容としては、東京音頭と山梨県民謡の甲州盆唄の二曲が取り上げられ、参加者は一心にその歌唱指導を受けました。特に、松田先生の歌声は参加者に大きな感動を与えました。普段はなかなか触れることのないプロの技術を間近で体験できる貴重な機会に、参加者一同は驚きと

敬意を抱きながらその歌声に耳を傾けました。講習会内では、松田先生のミニコンサートも行われ、民謡の持つ深い情感や力強さを感じることができました。

文化講習会が成功裏に終了したことを受けて、私たちはこのような素晴らしい機会を今後も継続的に行うことを決意しました。山梨県民謡の保全と発展に努めるため、より多くの県民に民謡の魅力を伝える活動を続けていきたいと考えています。民謡は、地域の文化や歴史を次世代に伝える大切な役割を担っており、その保護と普及は私たちの責務です。また、民謡や民舞を通じて地域コミュニティの絆を深め、次世代に向けて伝統文化を引き継いでいくことが、私たちの目指すべき未来であると感じています。

今後も、より多くの人々に民謡の魅力を伝え、地域文化の発展に寄与できるよう、力を尽くしてまいります。



賛助会員の紹介

当協会の趣旨に賛同して下さりご協力をいただいている賛助会員の皆様です。 令和7年3月現在

天正十年(1582年)創業。
鹿革と漆の伝統技を今に伝える甲州印伝の総本家。



www.inden-ya.co.jp



株式会社 吉宇屋本店



和楽器専門 有限会社 田中楽器

創業1902年(明治35年) 安心も一緒にお求めください

内藤楽器株式会社

TEL:055-243-8200 <http://naito-gakki.co.jp>

楽器・楽譜・防音室・ピアノ調律・楽器修理・買取・運送・ヤマハ教室



HAYANO

真心と確かな技術
株式会社 **早野組**
環境への想いをかたちに



甲州西条名産書道用紙・用具販売部
有限会社 **表現社**

額縁・洋画・デザイン・日本画材料

みくに画材店

TEL 055-252-1614 FAX 055-252-1618



山形屋琴三絃店
創業145年、最高級の技術で
和楽器の製造と修理を承ります！

(一社)山梨県労働者福祉協会

公益財団法人 **やまなし産業支援機構**



FUJIFILM
フジカラー総合ラボ

写真は大切な宝 我が家の財産

株式会社 **山梨フジカラー**

<http://www.yamanashi-fuji.co.jp/>



山梨日日新聞社



山梨文化会館



YBS山梨放送

チラシ パンフレット 作品集 記念誌 あらゆる印刷物に対応



株式会社 **ヨネヤ**

〒400-0031 甲府市丸の内1-14-6 TEL 055-235-4311 FAX 055-235-4313
ヨネヤ 印刷 検索 <http://www.yoneya.co.jp>

連合山梨
〒400-0858 甲府市相生2-7-17
TEL 055-228-0050